

の程度の事業費がかかるのかは出せる。

### 道交法改正に伴う、市の自転車安全対策は

(問) 自転車、歩行者の安全確保は、ルール徹底とカラー舗装等の道路改良が必要では。  
(答) 市民生活部長 今後も警察・学校と協力し取り組む。道路改良については、研究したい。

## 旧吉川保健所の有効な活用を

伊藤 正勝

(問) 2年前にも質問し、知事にも文書で要望したが、現状は広いスペースと建物に4人の職員が常駐。無駄であり、使い勝手も悪い。近隣広場や第2公民館など有効に活用できないか。

(答) 市長 市としても地域活動支援センターなどに使えないか18年6月、県に要望したが越谷保健所の分室として難病などの医療相談などに活用し



3・3・4号線（さくら通り）

### さくら通りの早期延伸実現を

(問) さくら通りはトンネルを含め22年度開通の予定。先にも質問したが、このままでは車の動線が変わり、関小角からさきよみ野の中を一日1万台以上の車輛が通過することになる。県道川藤・野田線まで早期に延伸を実現すべきだ。

(答) 都市建設部長 県の話では23年度以降に延伸を考えるとということだったが、それでは支障があると吉川側の事情を訴え、できるだけ早く調査測量に入るよう要望している。

(問) 新駅と跡地のその後は。  
(答) 市長 新駅はこの3月に設計の基本協定、4月業務着手。21年度設置費用明らかに工事の施工協定の予定。

(答) 都市建設部長 武操跡地は7月都市計画決定。8月事業認可。12月工事着手。23年度工事と土地処分見込みの予定。

## 今後の市の財政見通しについて 問う

遠藤 義法

(問) 07年に財政健全化法が成立しました。それは、国が自治体の財政をさらに締め付けるものであると言われていま

す。市長の受け止め方と対応は。吉川市の借金は一般会計で117億円、など総計221億7千万円である。市の財政が厳しい中で、新駅建設と武操跡地周辺開発を進めているが、資金計画は作成したのか。財源の見通しは本当に大丈夫か。

(答) 市長 財政健全化法は、財政が悪化している団体に対し早期に健全化させるものである。吉川市の財政についても明確にでき、広く市民に正確で透明性のある情報を提供できるものと考えている。

国の地方交付税や税源移譲等がどうなるか不確定要素が多いため、資金計画を的確に作成することは難しい。しか

し、公債費の減少や平成21年度には都市計画税の導入も計画しており、後期基本計画に沿って策定を検討していく。駅舎建設費14億円余は割賦返済などで市の財政に過大な負担にならないよう鉄道運輸機構と交渉している。

(問) 開発はどんどん進めているが、肝心の資金計画は決まらないのは問題である。資金計画をつくった上で、鉄道運輸機構と交渉するのが当然ではないのか。

(答) 都市建設部長 吉川市の財政状況を示しながら交渉しており、今後も進めていきたい。

### 特定健診・保健指導の目標と課題は

(問) 40～74歳の加入者に特定健康診査と生活習慣病予防に向けた特定保健指導が義務付けられたが、実施方法と目標は。75歳以上の方の検診は。

(答) 健康福祉部長 対象者全員に受診を促していく。目標をそれぞれ設定し、保健指導は抽出して実施していく。75歳以上の希望者には受ける体制をとっている。